記者発表資料

平成26年5月2日
東北地方整備局
秋田河川国道事務所

国道46号角館バイパス
角館バイパス全線開通から１年が経過して
～全線開通前後の交通状況について～

平成２５年３月１７日に全線開通しました「角館バイパス」（延長6.1km）の整備効果についてお知らせします。

1. 現道交通が角館BPに転換し、国道46号の交通量が**約4割減少**しました。

地　点	H21年	H23年度	H25年度	備　　考
角館バイパス	－	3，900台	4，600台	－
国道　46号	8，300台	4，700台	4，800台	4割減少 （H25／H21）
合　　計	8，300台	8，600台	9，400台	－

※交通量は24時間交通量

2. ピーク時における所要時間が**最大3分の1に短縮**しました。

※現地調査での計測結果

3. 現道の交通事故が減少

【topic】道路利用者の声

■**大型トラックなどの市内通過が減少**しているので、住民としては、**暮らしやすくなっている。**
（沿線住民へのヒアリング結果）

■**通勤の時間がバイパス区間は半減**になり、運転も楽になった。
（沿線企業へのヒアリング結果）

■現道交通量が減少し、**通学路の安全性が向上した。**
（教育関係者へのヒアリング結果）

■桜まつり期間中、交通が分散するようになったので、**開通前よりは渋滞を感じない。**
（沿線企業へのヒアリング結果）

（発表記者会：秋田県政記者会）

問　合　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所
TEL　018－823－4167（代表）
副所長（道路担当）　佐野（さの）　智樹（ともき）　（内線205）
調査第二課長　　角舘（かくだて）　清典（きよのり）　（内線451）

【開通1年後】 国道46号

角館バイパスが全線開通して

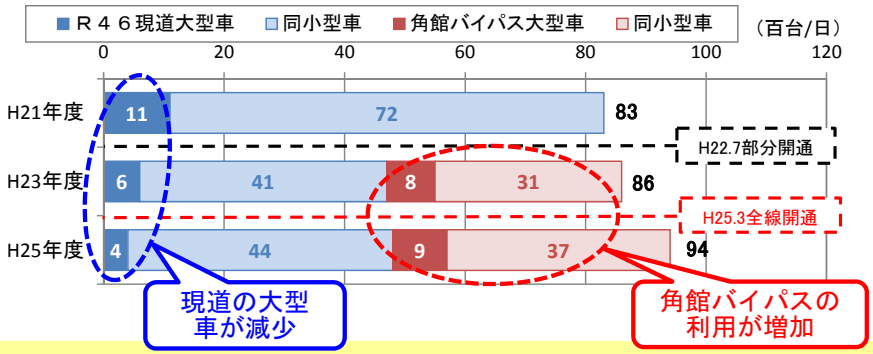
（平成25年3月17日開通）

①角館バイパスの機能分担が定着
②ピーク時における所要時間が最大3分の1に
③秋田港～岩手県間の国際物流効率化に貢献
④現道の交通事故が減少



①角館バイパスの部分開通後、バイパスに交通が転換し、その後もバイパスの利用が増加しています

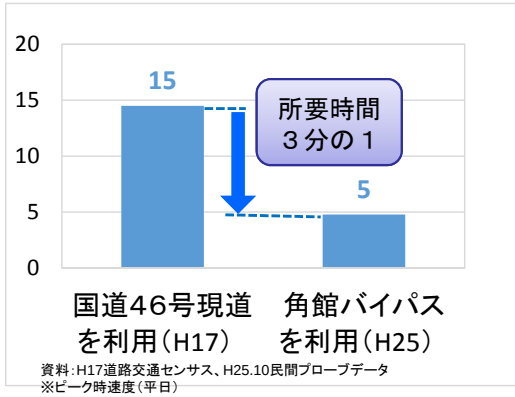
▼ 国道46号角館地区の年平均交通量推移（常時観測データ）



・大型トラックなどの市内通過が減少しているので、住民としては暮らしやすくなっている。（沿線住民へのヒアリング結果 H26.2月）

②所要時間が3分の1に短縮しました

▼ 月見堂～羽根ヶ台の所要時間



資料：H17道路交通センサス、H25.10民間プローブデータ
※ピーク時速度（平日）

▼ 信号交差点の数



・街の中を通らなくて良いため、信号がなく、通勤の時間がバイパスの区間は半減になり、運転も楽になった。

（沿線企業へのヒアリング結果 H26.3月）

【Topic】大型車が46号の現道から、角館バイパス利用に転換しました

開通前



開通後



開通後1年が経過　地域を支える角館バイパス

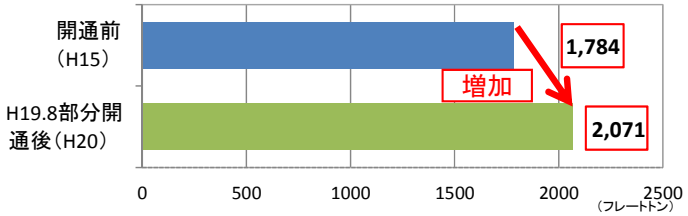
③秋田港～岩手県へのコンテナ輸送においても交通状況が改善されています

・秋田港を利用する岩手県発着のコンテナ貨物量は増加している
・盛岡地方生活圏で消費される輸入品のうち、2割が秋田港からの輸入となっている

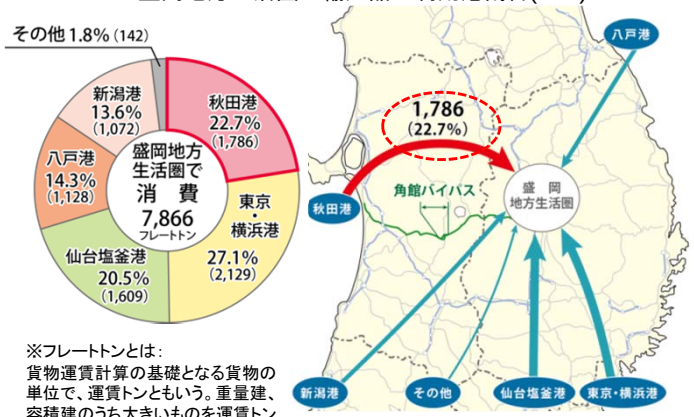


写真③：角館バイパスを走行するコンテナ輸送車（H25.3.18）

▼ 秋田港～岩手県間の国際コンテナ貨物流動量



▼ 盛岡地方生活圏の輸入品の利用港割合(H20)



※フレートトンとは：
貨物運賃計算の基礎となる貨物の単位で、運賃トンともいう。重量建、容積建のうち大きいものを運賃トンとして採用する。

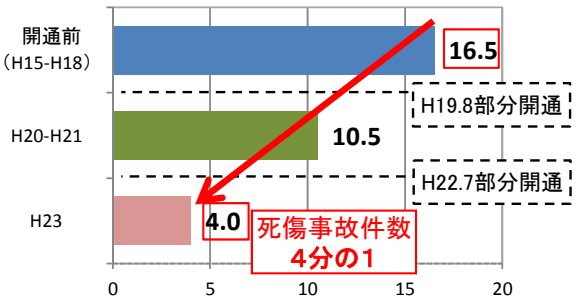
資料：全国輸出入コンテナ貨物流動調査

・角館地区の通過が、従来より5～15分短縮できている。また、街中を走らなくても良くなり安全になり、以前より快適になった。
（コンテナ輸送会社へのヒアリング結果 H26.3月）
・野菜を輸送する際の荷くずれが減少した。
（物流業者へのヒアリング結果 H26.2月）

④バイパス開通後、並行現道区間の事故が減少しました

・H22.7の部分開通以降、死傷事故件数は、開通前比で4分の1に減少している

▼ 国道46号角館地区の死傷事故件数推移
（角館バイパスに並行する現道区間）





【国道46号(現道)利用者の声】
・現道の交通量が減少し通学路の安全性が向上した。
（教育関係者へのヒアリング結果 H26.2月）
・現道を走るトラックなどの大型車両が少なくなり、安心して運行できます。
（路線バス会社へのヒアリング結果 H26.3月）
【角館バイパス利用者の声】
・周囲に民家等が無くなったため、走行時に歩行者に対する危険性は減少した。
（物流業者へのヒアリング結果 H26.2月）

【Topic】H25桜まつり期間中の渋滞長が短縮し、渋滞時間も大幅に改善しました

▼角館 桜まつり期間中における最大渋滞長の変化



・期間中、渋滞状況調査を1日1～3回実施したが、25年度は1度も大きな渋滞が発生しなかった。
（仙北市へのヒアリング調査結果 H26.3月）
・桜まつり期間中、交通が分散するようになったので開通前よりは渋滞を感じない。
・観光シーズンの渋滞が緩和され、走行しやすくなった。
（沿線企業へのヒアリング結果 H26.2～3月）

